

平成26年度 新入社員の意識調査

調査概要	1
調査結果	
～今年の新入社員の特徴は～	2
問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思っていますか？	3
問2 あなたは、仕事と家庭のどちらを優先しますか？	4
問3 働くことについてどのように考えていますか？	5
問4 今の会社ですっと働きたいですか？	6
問5 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？	7
問6 今の企業を選んだ理由は何ですか？	8
問7 出世についてどう思っていますか？	9
問8 会社に望むことは何ですか？	10
問9 上司や先輩に望むことは何ですか？	11
問10 仕事や職場に関する期待・不安はありますか？	12
問11 仕事や職場で悩みや不安がある場合、誰に相談しますか？	13
問12 今の自分に自信があること、また自信がないことは何ですか？	14
問13 仕事以外で一番関心のあることは何ですか？	15
問14 休日(余暇)に最もしたいと思うことは何ですか？	16

調 査 概 要

1. 調査期間 平成26年3月24日 ~ 3月29日
2. 方 法 無記名アンケート方式
3. 対 象 あわぎんビジネスカレッジ主催
「新入社員セミナー」参加者
4. 参加企業 124社
5. 参加者数 405名
6. 回答者数 401名 回収率 99.0%

(内訳)

	大学卒	短大卒	高校卒	計
男性	109	35	89	233
女性	76	36	56	168
計	185	71	145	401

(注)短大卒には専門学校卒を含む

(参考)

職種別	営業	事務	技術	不明	計
	96	82	194	29	401

< 今年の新入社員の特徴は >

1 . 誠実で協調性があり、責任感と忍耐力に自信がある新入社員

自信のあることは、責任感・協調性・誠実性・忍耐力。
自信のないことは、決断力・積極性・コミュニケーション・集中力と自己分析。

2 . 定年まで働くより、転職（独立）を考えている新入社員

「定年まで働きたい」と考える人は22%と前年(42%)から大幅に減少。これに対し「他に条件の良い会社があれば」「自分に向かないと思えば」「技術を覚えたら」といった理由で転職・独立を考えている人が74%(前年49%)に上る。

3 . 「人並み」志向の新入社員

「どんな生き方をしたいか」の質問に対し「平凡な生き方」との回答が前年の11%から23%に増加。また「働くことへの考え方」の質問には「人並みに働くことができればよい」が前年の15%から19%となる等、積極的な姿勢や向上意欲にもの足りなさを感じる回答が増えている。

4 . 徳島への愛着と親の希望から、県内の企業に就職した新入社員

県内の企業に就職した理由として「徳島を離れたくなかった」が24%、「親の希望など家庭の事情」が20%を占め「生活面でゆとりができる」の18%を加えると約60%が仕事内容以外の理由を挙げている。現実的な点から地元での就職希望者が多くなっていると思われる。

今年の新入社員の大半はバブル崩壊前後に生まれた世代で、デフレ時代の物価下落が続く経済情勢の厳しい環境で育ち、学校週5日制の下で教育を受けてきた「完全ゆとり世代」である。

このような時代背景から、もともとお金に対しては敏感で関心が高く、今般の物価上昇を初めて経験する新入社員は「生活面でのゆとり」「お金を貯めて豊かな生活」を求めて「適正な賃金」を希望し、競争よりも横並び（人並み）を志向する意識が強いものと思われる。

また、ここ1年で雇用環境の改善が見られることが、新入社員の転職志向が急上昇している背景になっていると考えられる。

本アンケート回答者の中には、家庭の事情などを優先し、仕事本位での就職先選択ではないと思われる新入社員が相当数含まれていると推測されることから、各職場においては上司・先輩が良き相談相手となり、全社を挙げて新入社員の定着化を目指した取り組みが求められる。

問1 あなたは、どんな「生き方」をしたいと思いますか？

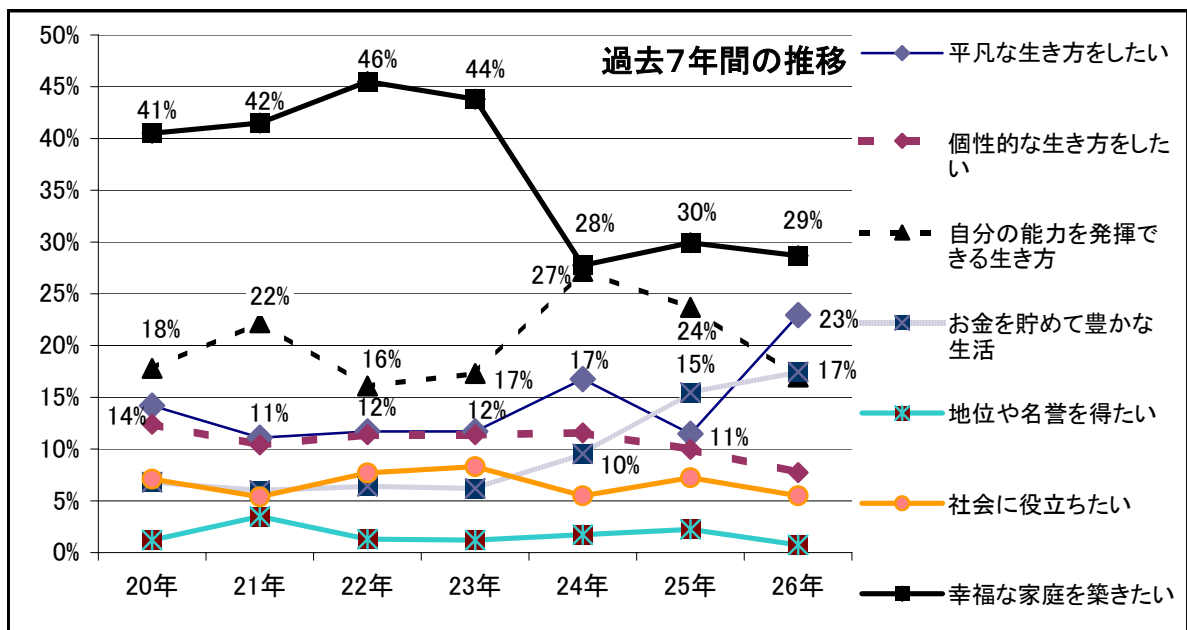
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
平凡な生き方をしたい		22.9%	18.9%	28.6%	30.3%	22.5%	17.3%
個性的な生き方をしたい		7.7%	10.3%	4.2%	6.9%	4.2%	9.7%
自分の能力を発揮できる生き方をしたい		17.0%	17.6%	16.1%	11.0%	23.9%	18.9%
お金を貯めて豊かな生活をしたい		17.5%	21.9%	11.3%	19.3%	14.1%	17.3%
地位や名誉を得たい		0.7%	1.3%	0.0%	0.7%	1.4%	0.5%
社会に役立ちたい		5.5%	6.0%	4.8%	6.2%	5.6%	4.9%
幸福な家庭を築きたい		28.7%	24.0%	35.1%	25.5%	28.2%	31.4%

「幸福な家庭」と「平凡な生き方」を希望

今年度も「幸福な家庭を築きたい」が28.7%を占めて第1位となった。前年まで安定して第2位であった「自分の能力を発揮できる生き方をしたい」は全体で6.7ポイント減少して第4位となり、代わって「平凡な生き方をしたい」が前年の11.6%から倍増の22.9%で第2位となり、「お金を貯めて豊かな生活がしたい」が2.1ポイント上昇し第3位となった。

「平凡な生き方をしたい」は男女別・学歴別の全てで増加し、特に男女別で女性が前年の13.6%から28.6%、学歴別で高校卒が同12.6%から30.3%、短大卒が同8.3%から22.5%と大幅な上昇が見られる。

「自分の能力を発揮できる生き方をしたい」と回答した女性は昨年の24.7%から16.1%と大幅に減少。昨年までの女性が積極的に社会の中で自分の能力を発揮しようとする傾向から一転して、自分の個性を前面に出さない平凡志向に変化していることが大きな特徴となっている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位4項目のみ記載)

問2 あなたは、仕事と家庭のどちらを優先しますか？

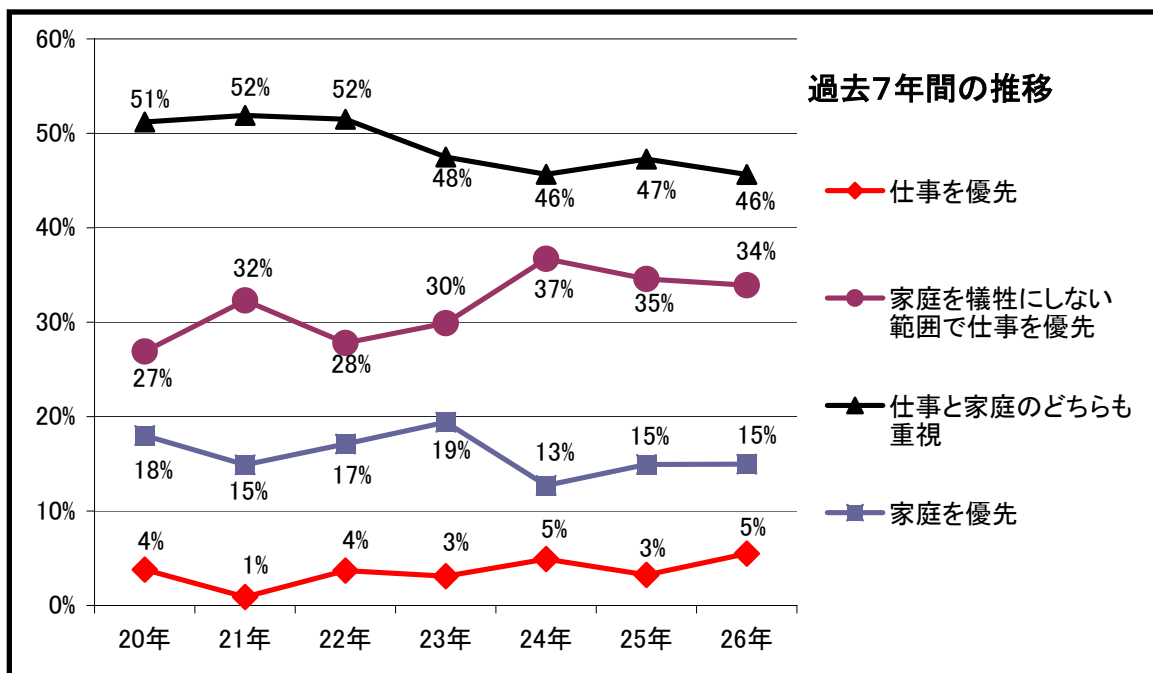
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
仕事を優先する		5.5%	7.7%	2.4%	4.8%	2.8%	7.0%
家庭を犠牲にしない範囲で仕事を優先		33.9%	35.2%	32.1%	29.7%	35.2%	36.8%
仕事と家庭のどちらも重視する		45.6%	46.4%	44.6%	46.9%	43.7%	45.4%
家庭を優先する		15.0%	10.7%	20.8%	18.6%	18.3%	10.8%

軸足はやや「仕事」だが、「家庭」も重視

今年も「仕事と家庭のどちらも重視する」が45.6%でトップとなり、バランスを重視する回答が圧倒的に多かった。

第2位以下も順位に変化はなく、回答割合に大きな変動はなかったものの「仕事を優先する」が全体で前年の3.1%から5.5%に増加し、男女別・学歴別の全てで上昇している。特に男性で前年の4.0%から7.7%、大学卒で同2.7%から7.0%と上昇率は大きい。

全体的にみても少しずつではあるが、優先度合いが「家庭重視」から「仕事重視」へシフトしている傾向が見られる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問3 働くことについてどのように考えていますか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
働き甲斐があれば残業や仕事の苦労はかまわない		22.4%	25.3%	18.5%	24.8%	22.5%	20.5%
給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦労はかまわない		31.9%	34.8%	28.0%	31.0%	32.4%	32.4%
仕事を通じて技術を身に付けたい		23.2%	23.6%	22.6%	22.8%	29.6%	21.1%
人並みに働くことができればよい		19.0%	12.0%	28.6%	16.6%	12.7%	23.2%
できれば楽な仕事がしたい		3.5%	4.3%	2.4%	4.8%	2.8%	2.7%

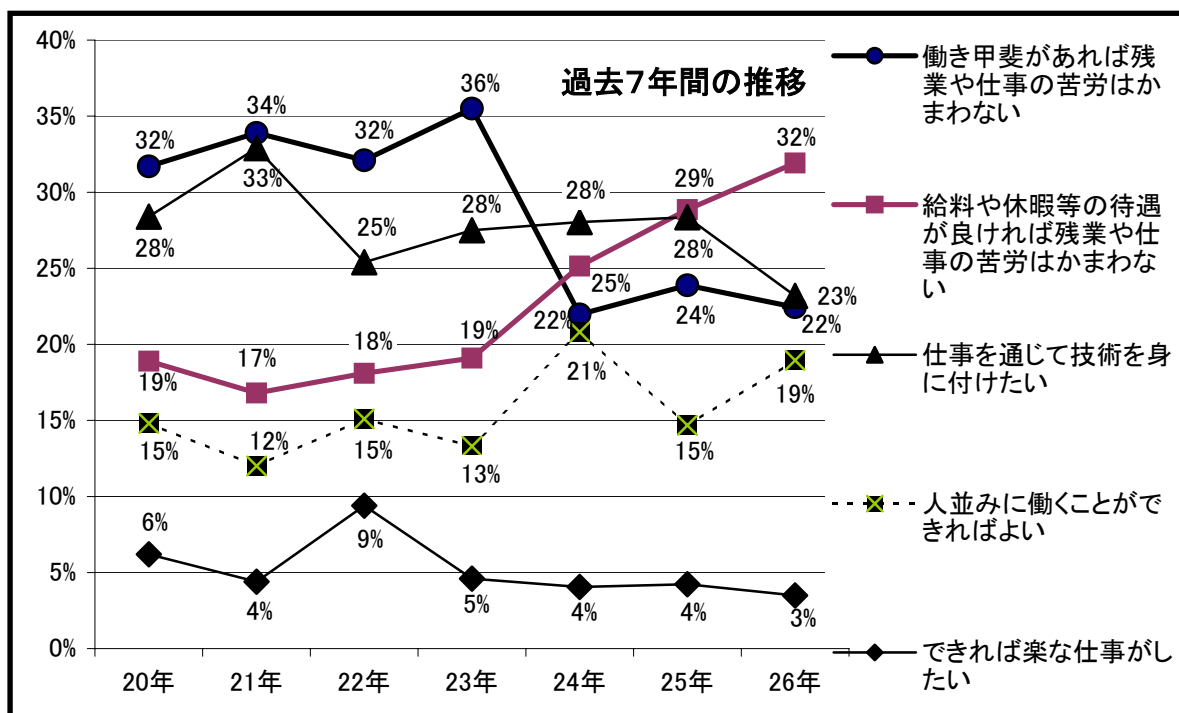
「働き甲斐」より「労働条件・待遇」重視

「給料や休暇等の待遇が良ければ、残業や仕事の苦労はかまわない」が前年比3.2ポイント増と5年連続上昇し第1位となった。特に女性が0.2ポイントの微増なのに対して、男性は5.4ポイントの増加となっている。学歴別でも短大卒が6.4ポイントの増加、大学卒が4.2ポイントの増加となっているのが特徴である。

第2位は「仕事を通じて技術を身に付けたい」（前年比5.3ポイント減）となり、第3位は「働き甲斐があれば残業や仕事の苦労はかまわない」（同1.7ポイント減）と続いた。

ここ数年、仕事に対する意識は「働き甲斐」を求めるより、現実的に「給料や休暇などの労働条件面」を重視する傾向が続いている。

「人並みに働ければよい」という平凡さを求める回答も、昨年の14.6%から今年は19.0%と4.4ポイント増加しており、問1と同様に積極性に欠ける結果となった。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問4 今の会社ですっと働きたいですか？

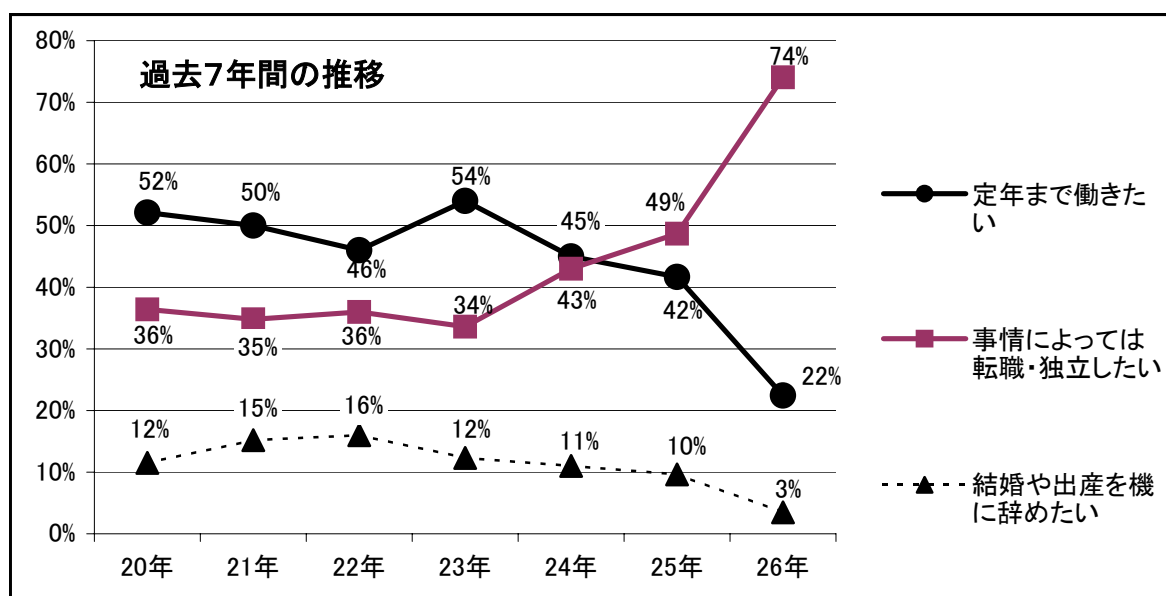
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
定年まで働きたい		22.4%	25.3%	18.5%	24.8%	22.5%	20.5%
条件のよい会社があれば転職したい		31.9%	34.8%	28.0%	31.0%	32.4%	32.4%
自分に向かないと思えば転職したい		23.2%	23.6%	22.6%	22.8%	29.6%	21.1%
技術を覚えたら独立(転職)したい		19.0%	12.0%	28.6%	16.6%	12.7%	23.2%
結婚や出産を機に辞めたい		3.5%	4.3%	2.4%	4.8%	2.8%	2.7%

「転職」「独立」も視野 74%

「条件のよい会社があれば転職」が15.2ポイント増、「自分に向かないと思えば転職」が3.7ポイント増、「技術を覚えたら独立(転職)」が6.5ポイント増となり、事情によっては転職(独立)を考えている人は計25.4ポイント増加の74.1%となった。

一昨年まで第1位が続いていた「定年まで働きたい」は全体で19.3ポイント減少しており、特に大学卒で前年の44.7%から20.5%、短大卒で50.7%から22.5%といずれも半分以下となっている。

また「結婚や出産を機に退職」も前年の9.6%から3.5%と減少。女性で23.3%から2.4%、学歴別でも高校卒で前年の25.2%から4.8%と激減し、結婚・出産を経ても、ずっと働き続けるとい職業観を持った女性が多くなっていることや、社会全体としても育児休暇制度など働く女性を支援する環境が整ってきたことが大きな要因であると思われる。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問5 徳島県内の企業に就職した理由は何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
親の希望など家庭の事情から		19.7%	15.9%	25.0%	23.4%	19.7%	16.8%
県外の希望する企業に入社できなかった		6.5%	8.6%	3.6%	9.7%	2.8%	5.4%
自分に適している企業があったから		20.2%	20.6%	19.6%	15.2%	26.8%	21.6%
徳島から離れたくなかったから		23.9%	23.2%	25.0%	24.8%	18.3%	25.4%
生活面でゆとりができるから		17.5%	19.3%	14.9%	18.6%	22.5%	14.6%
その他		12.2%	12.4%	11.9%	8.3%	9.9%	16.2%

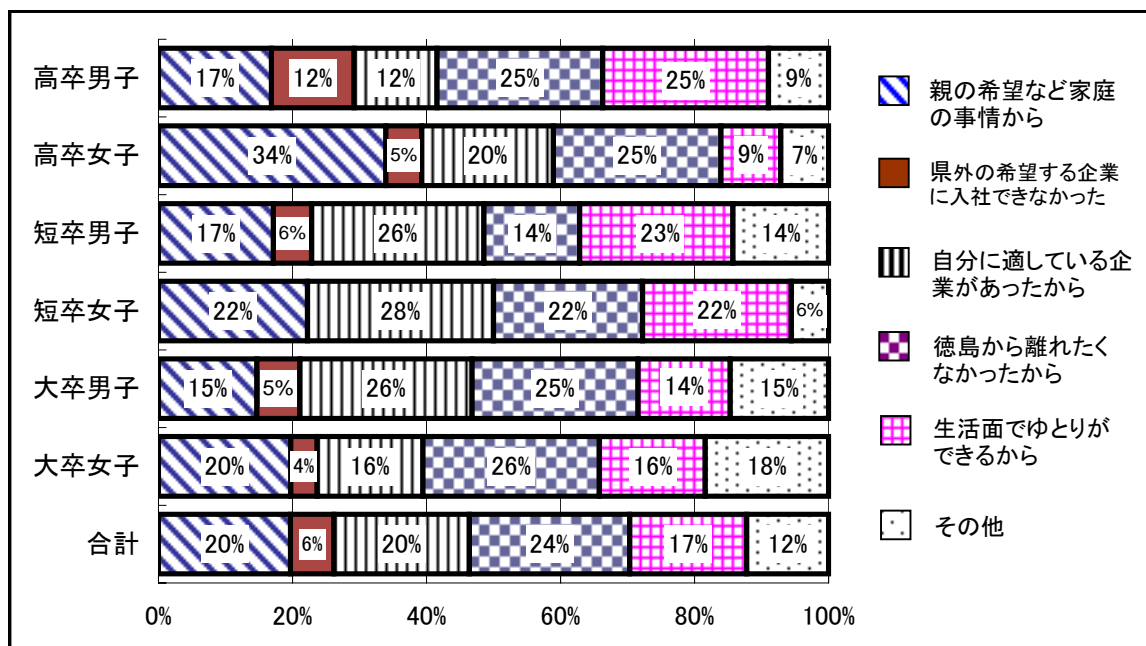
1番の理由は 地元 徳島への愛着

「徳島から離れたくなかったから」が前年比6.6ポイント減少となったものの23.9%で昨年に続いて第1位となった。「自分に適している企業があったから」も3.5ポイント減少したが前年と同じ第2位となった。

第3位には昨年の14.6%から19.7%と5.1ポイント増加した「親の希望など家庭の事情から」が入り、男女別・学歴別の全てで増加している。

また「生活面でゆとりができるから」という回答が1.6ポイント増加して17.5%となり、「県外の希望する企業に入社できなかったから」の回答も2.6ポイント増え、特に高校卒男子の12%に上った。

男女・学歴を問わず「地元への愛着の大きさ」と「親の希望優先」がうかがえる結果となった。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問6 今の企業を選んだ理由は何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
自分の好きな業種だから		23.4%	20.2%	28.0%	17.9%	35.2%	23.2%
自分の能力や個性を生かせるから		12.7%	13.3%	11.9%	11.0%	14.1%	13.5%
技術が覚えられるから		7.5%	7.3%	7.7%	7.6%	11.3%	5.9%
給料や勤務時間等の条件が良い		6.2%	8.2%	3.6%	9.7%	7.0%	3.2%
将来性のある企業だから		7.7%	11.6%	2.4%	7.6%	2.8%	9.7%
会社の雰囲気が良いから		19.0%	17.6%	20.8%	12.4%	16.9%	24.9%
地理的条件が良いから		3.7%	3.4%	4.2%	3.4%	1.4%	4.9%
家族や恩師に薦められたから		9.7%	9.0%	10.7%	18.6%	4.2%	4.9%
その他		10.0%	9.4%	10.7%	11.7%	7.0%	9.7%

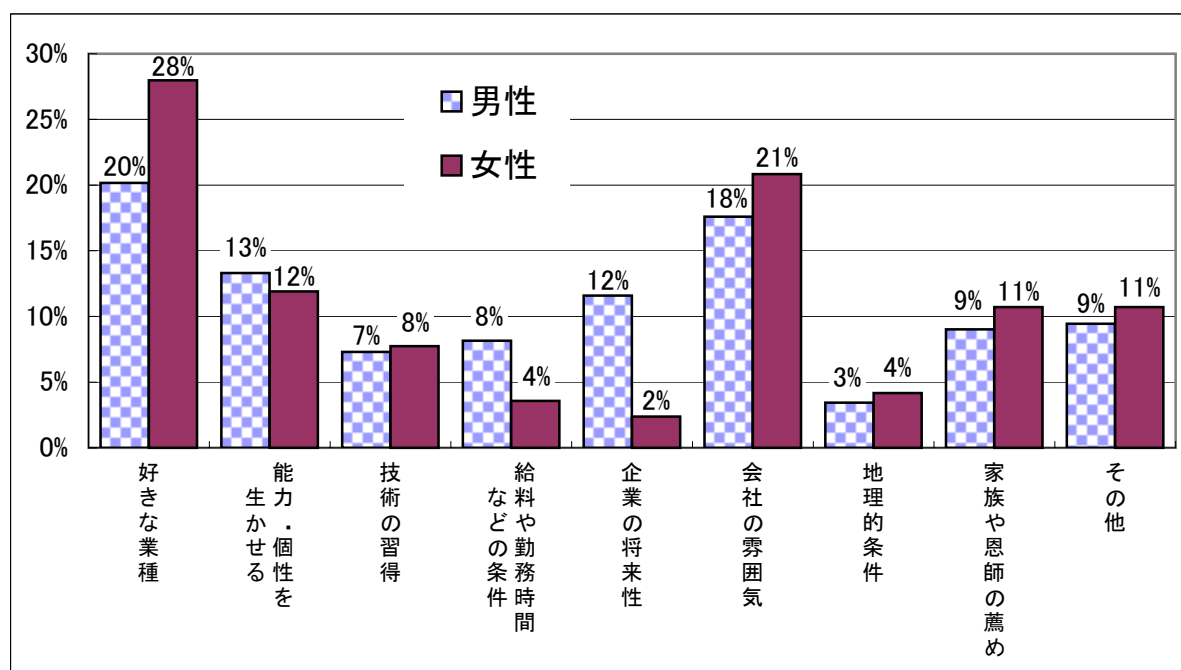
仕事本位の企業選択は約5割

第1位は例年どおり「自分の好きな業種だから」であるが、前年の29.4%から23.4%と6ポイント減少し、特に男性で9.1ポイントの大幅減少となっている。

第2位は「会社の雰囲気が良いから」が4.2ポイント増加の19.0%となり前年の3位から上昇。男女別で見ても男性で12.9%から17.6%、女性で17.5%から20.8%と増加し、職場の雰囲気を重視する傾向が強くなっている。

一方「自分の能力や個性を生かせるから」は2.4ポイント減少するなど、仕事本位での企業選択がやや薄らいでいる結果となった。

また「家族や恩師に薦められたから」は8.1%から9.7%と微増であるが、男女・学歴を問わず上昇しており、特に高校卒で前年の11.9%から18.6%と6.7ポイントも増加しているのが特徴である。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

(将来像)

問7 出世についてどう思っていますか？

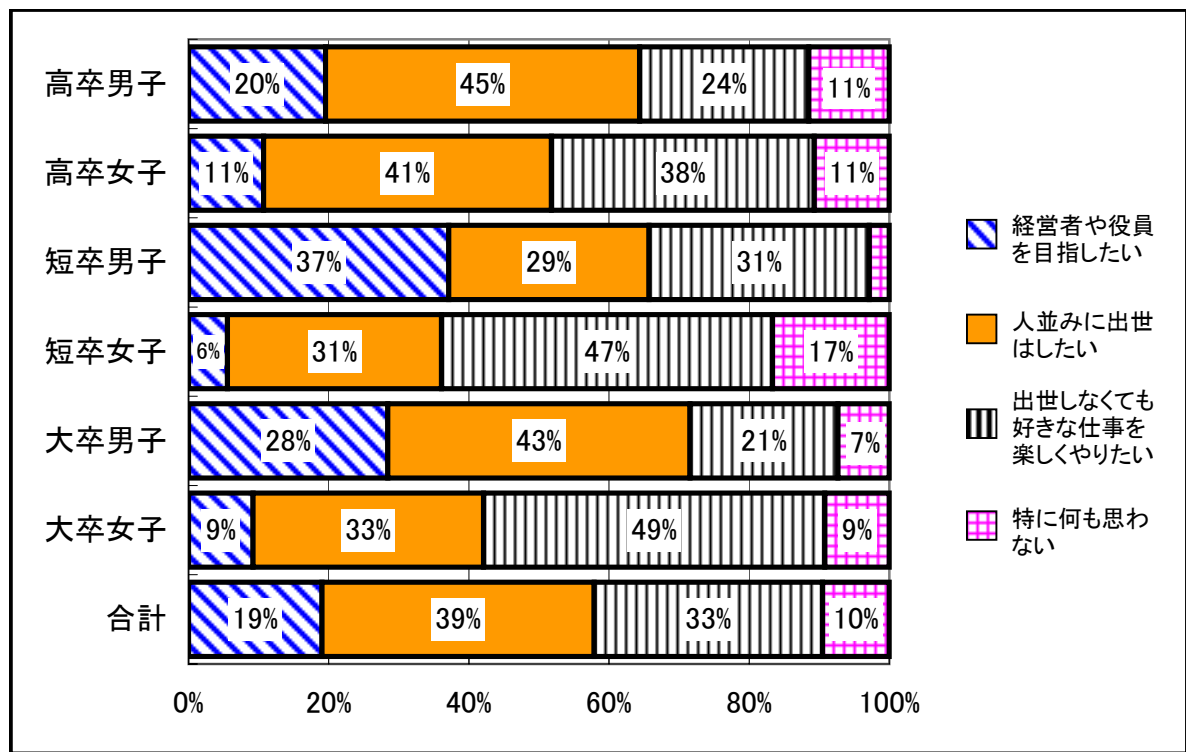
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
経営者や役員を目指したい		19.0%	26.4%	8.9%	16.1%	21.1%	20.5%
人並みに出世はしたい		38.8%	41.6%	35.1%	43.4%	29.6%	38.9%
出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい		32.6%	23.8%	44.6%	29.4%	39.4%	32.4%
特に何も思わない		9.5%	8.2%	11.3%	11.2%	9.9%	8.1%

出世や地位に対する意欲が後退

「経営者や役員を目指したい」が前年の21.1%から2.1ポイント減少して19.0%、「人並みに出世はしたい」が39.7%から0.9ポイント減少して38.8%となった。

一方で「出世しなくても好きな仕事を楽しくやりたい」という回答が28.2%から32.6%に上昇。男女別で男性が2.5ポイント増、女性で6.6ポイント増、学歴別では高校卒で5.2ポイント増、短大卒で4.3ポイント増、大学卒で4.3ポイント増と全階層で増加した。

全体的に出世や地位に対する意欲が後退し、地位に関係なく自分の好きな仕事を続けたいとの意識がみられる結果となった。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問8 会社に望むことは何ですか？

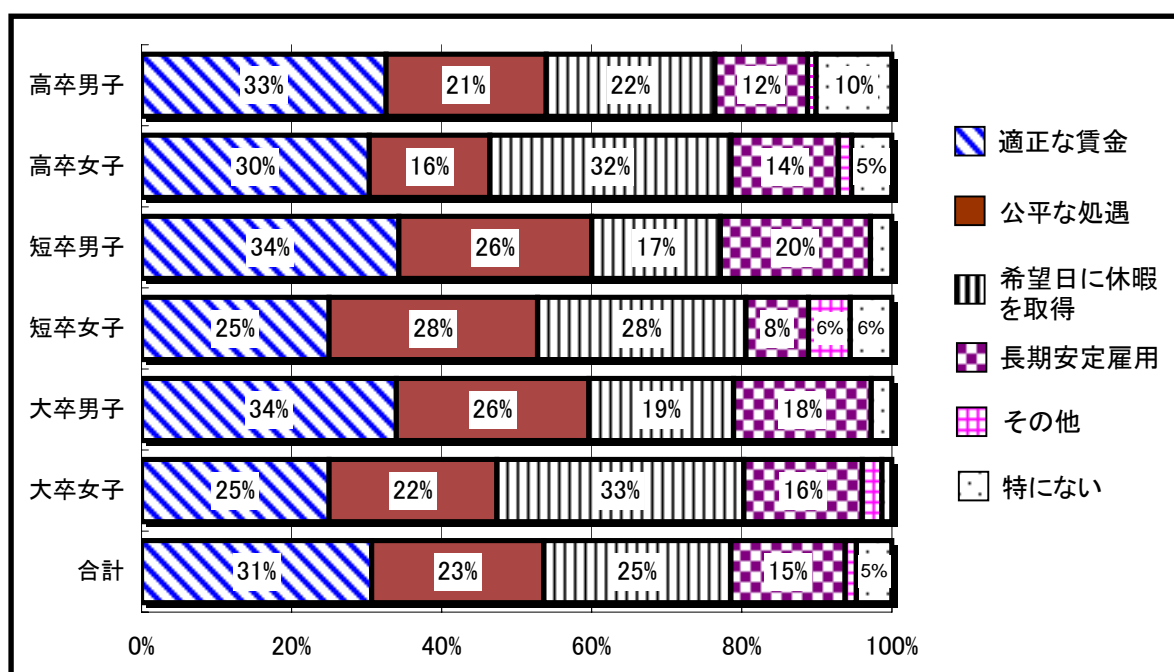
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
適正な賃金		30.7%	33.5%	26.8%	31.7%	29.6%	30.3%
公平な処遇		22.9%	24.0%	21.4%	19.3%	26.8%	24.3%
希望日に休暇を取得		24.9%	20.2%	31.5%	26.2%	22.5%	24.9%
長期安定雇用		15.2%	16.3%	13.7%	13.1%	14.1%	17.3%
その他		1.5%	0.4%	3.0%	1.4%	2.8%	1.1%
特にない		4.7%	5.6%	3.6%	8.3%	4.2%	2.2%

「適正な賃金」と「希望日の休暇取得」を希望

昨年と大きな変動はなく、第1位は「適正な賃金」の30.7%で、第2位は24.9%の「希望日に休暇を取得」、第3位は「公平な処遇」の22.9%となった。「希望日に休暇を取得」の回答は24年度の18.2%、25年度の23.1%、26年度の24.9%と年々増加傾向にある。

学歴別にみると、高卒・短大卒・大学卒のいずれもが1番に「適正な賃金」を挙げ、男女別では男性の1位は「適正な賃金」となったのに対して、女性は「希望日に休暇を取得」を求める意見が最も多かった。

また前年との比較では「公平な処遇」を求める割合が、高校卒で1.1ポイント増、短大卒で6.2ポイント増、大学卒で2.3ポイント増となり、学歴別の全てで上昇している。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問9 上司や先輩に望むことは何ですか？

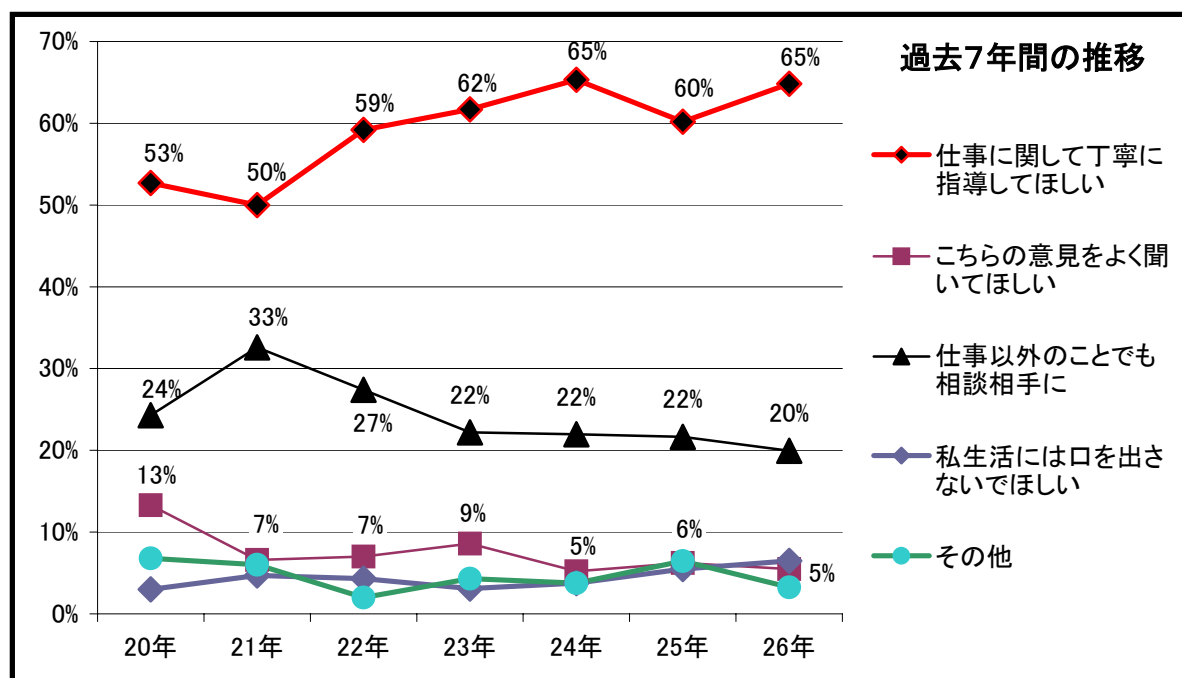
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
仕事に関して丁寧に指導してほしい		64.8%	60.1%	71.4%	62.1%	66.2%	66.5%
こちらの意見をよく聞いてほしい		5.5%	7.7%	2.4%	2.8%	4.2%	8.1%
仕事以外のことでも相談相手になってほしい		20.0%	23.2%	15.5%	21.4%	18.3%	19.5%
私生活には口を出さないでほしい		6.5%	6.4%	6.5%	8.3%	7.0%	4.9%
その他		3.2%	2.6%	4.2%	5.5%	4.2%	1.1%

良い職場環境で、やさしく、丁寧な指導が必要

全体的に大きな変化はなく「仕事に関して丁寧に指導してほしい」が前年比4.5ポイント増加し、全体の64.8%を占めて例年どおり第1位となった。

第2位は「仕事以外のことでも相談相手になってほしい」が20.0%となっているが、21年度の32.6%をピークに減少傾向にある。

自ら仕事に真剣に取り組んでいこうとする積極姿勢がうかがえ、雰囲気や人間関係の良い職場環境で、丁寧にしっかりと指導してくれる上司・先輩が望まれている調査結果となった。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(主要3項目のみ記載)

(期待・不安)

問10 仕事や職場に関する期待・不安はありますか？

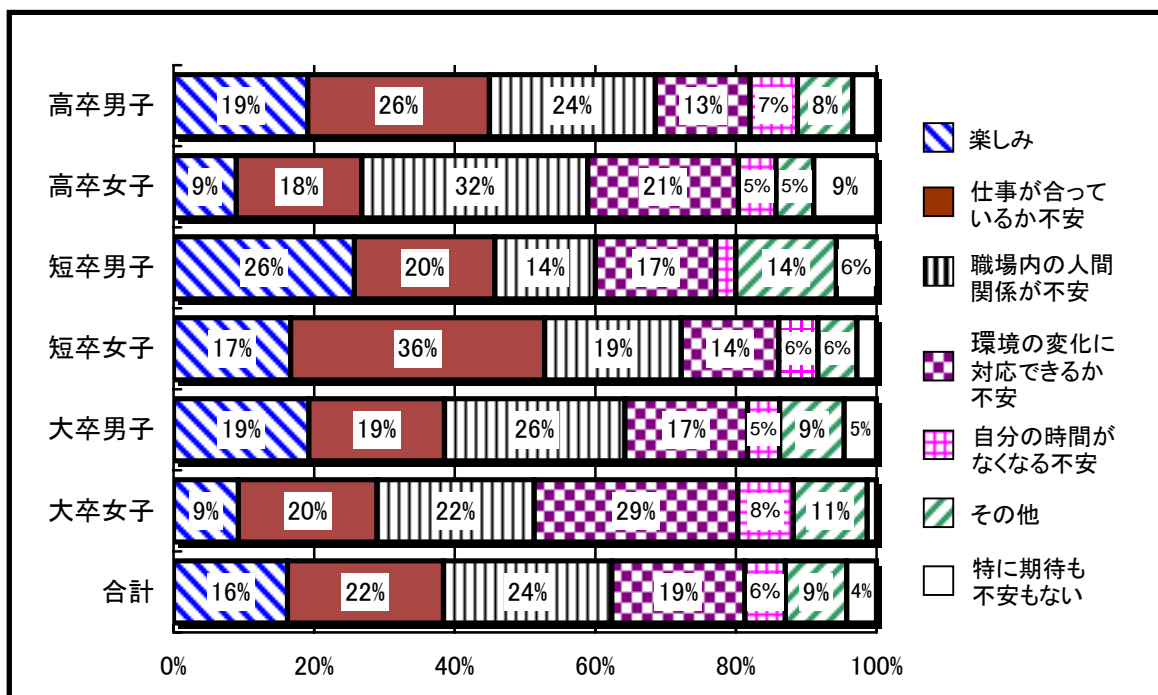
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
楽しみである		16.2%	20.2%	10.7%	15.2%	21.1%	15.1%
仕事が自分に合っているかどうか不安		22.2%	21.9%	22.6%	22.8%	28.2%	19.5%
上司・先輩・同僚との人間関係が不安		23.9%	23.2%	25.0%	26.9%	16.9%	24.3%
環境の変化に対応できるかどうか不安		19.0%	15.9%	23.2%	16.6%	15.5%	22.2%
自分の時間がなくなるのではないかと不安		5.7%	5.2%	6.5%	6.2%	4.2%	5.9%
その他		8.7%	9.4%	7.7%	6.9%	9.9%	9.7%
特に期待も不安もない		4.2%	4.3%	4.2%	5.5%	4.2%	3.2%

不安7割 ～ 4人に1人は人間関係に不安

「上司・先輩・同僚との人間関係が不安」という回答が前年に続いて第1位となり、男性・女性とも職場の人間関係に対する不安が大きいことがうかがえる。

「楽しみである」との回答は前年比4.2ポイント減少。24年度は26.9%で第1位であったが、25年度は20.4%で第3位、今年は4位に後退した。「楽しみである」と回答した男性は昨年の28.4%から20.2%と大幅に減少し、特に高卒男子は前年の40.3%から19.1%と半減している。

全体として「楽しみである」という期待が16.2%に対し、何らかの「不安がある」という回答が70.8%となり、約7割の新入社員が不安を感じている結果となった。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

問11 仕事や職場で悩みや不安がある場合、誰に相談しますか？

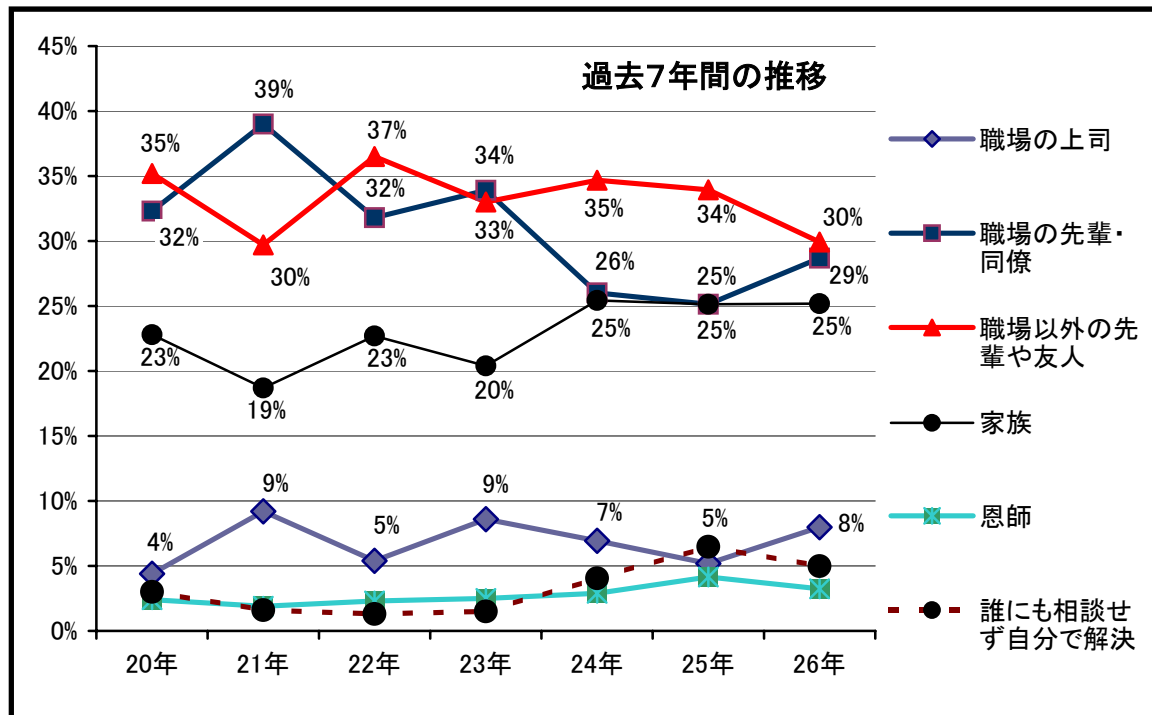
項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
職場の上司		8.0%	11.6%	3.0%	6.9%	8.5%	8.6%
職場の先輩・同僚		28.7%	35.2%	19.6%	31.7%	28.2%	26.5%
職場以外の先輩や友人		29.9%	26.6%	34.5%	27.6%	26.8%	33.0%
家族		25.2%	19.3%	33.3%	22.1%	29.6%	25.9%
恩師		3.2%	2.6%	4.2%	5.5%	1.4%	2.2%
誰にも相談せず自分で解決する		5.0%	4.7%	5.4%	6.2%	5.6%	3.8%

相談相手は職場以外の人

第1位は「職場以外の先輩や友人」で29.9%、第2位は「職場の先輩・同僚」で28.7%、第3位は「家族」が25.2%となり昨年と順位に変動はなかった。

家族への相談は25%を超え高い水準を維持しており、全体として男女とも職場外で相談するとした回答が依然として多いものの、「職場以外の先輩や友人」は前年比4ポイント減少して、「職場の上司・先輩・同僚」が6.4ポイント増加している。

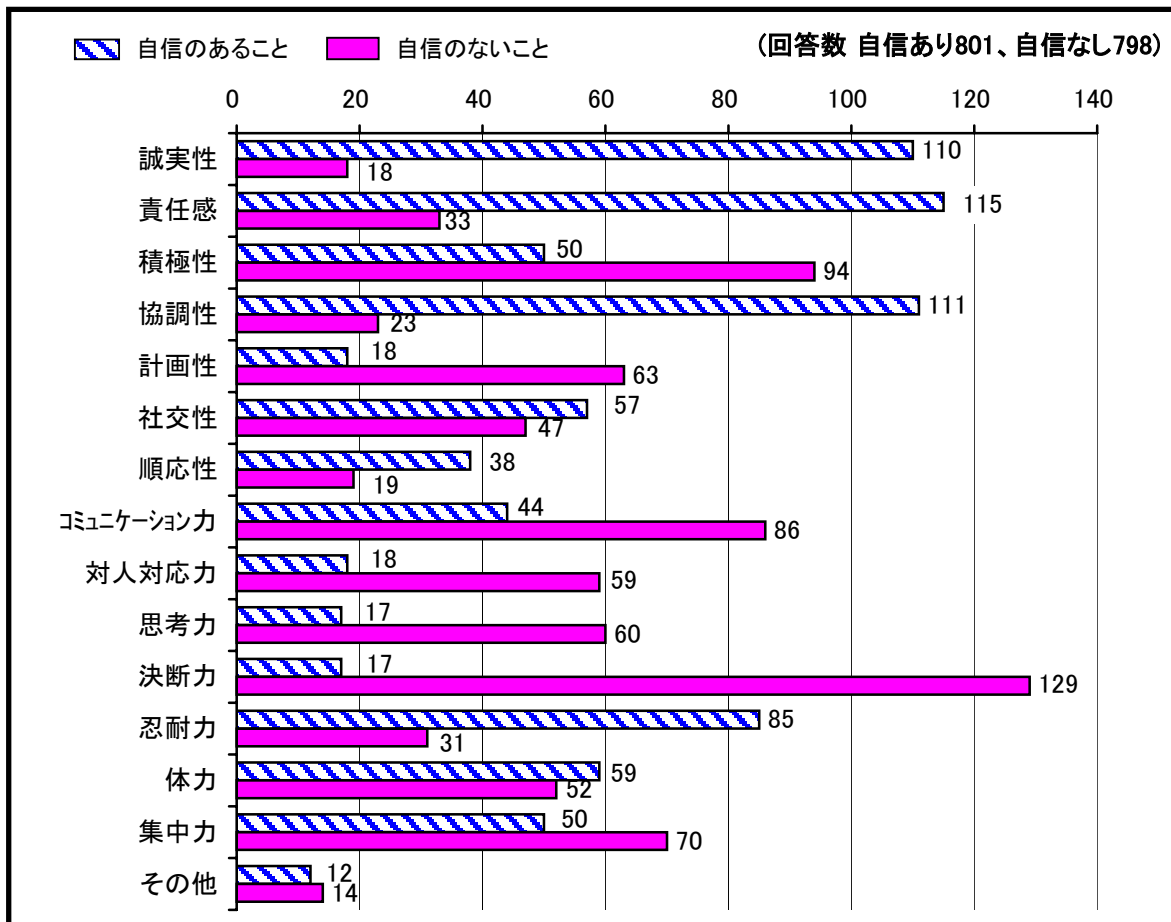
頼られる先輩社員がしっかりコミュニケーションを持って、職場内の悩みは職場内で解決していく取り組みが必要である。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入(上位4項目のみ記載)

問12 今の自分に自信があること、また自信がないことは何ですか？

自信のあること、自信のないことをそれぞれ2つ選択



自信ありは「責任感」、自信なしは「決断力」

自信のあることの上位は、第1位が「責任感」、第2位が「協調性」となり、以下「誠実性」「忍耐力」と続いた。「周りと協力して誠実に責任を持って粘り強くやり遂げる」ことには自信があるという結果となっている。

男女別にみると、男性の1位は「誠実性」の30.0%、女性の1位は「協調性」の29.9%となり、総合1位の「責任感」は男女とも2位であった。学歴別の1位は大学卒・短大卒が「協調性」をあげ、高校卒は「責任感」となった。

一方、自信のないことの上位は、第1位が「決断力」、第2位が「積極性」で、以下「コミュニケーション力」「集中力」となった。

1位の「決断力」は全体の32.3%にあたる129人が自信がないと回答しており、男女別・学歴別の全てで最も高い。

また、4人に1人は「積極性」に欠けていると自己分析しており、学歴別でも大学卒で21.6%、短大卒で24.1%、高校卒で25.8%と総じて高い。

自信あり・なしの両方ともに上位4つの項目は3年連続で同じであった。

(プライベート)

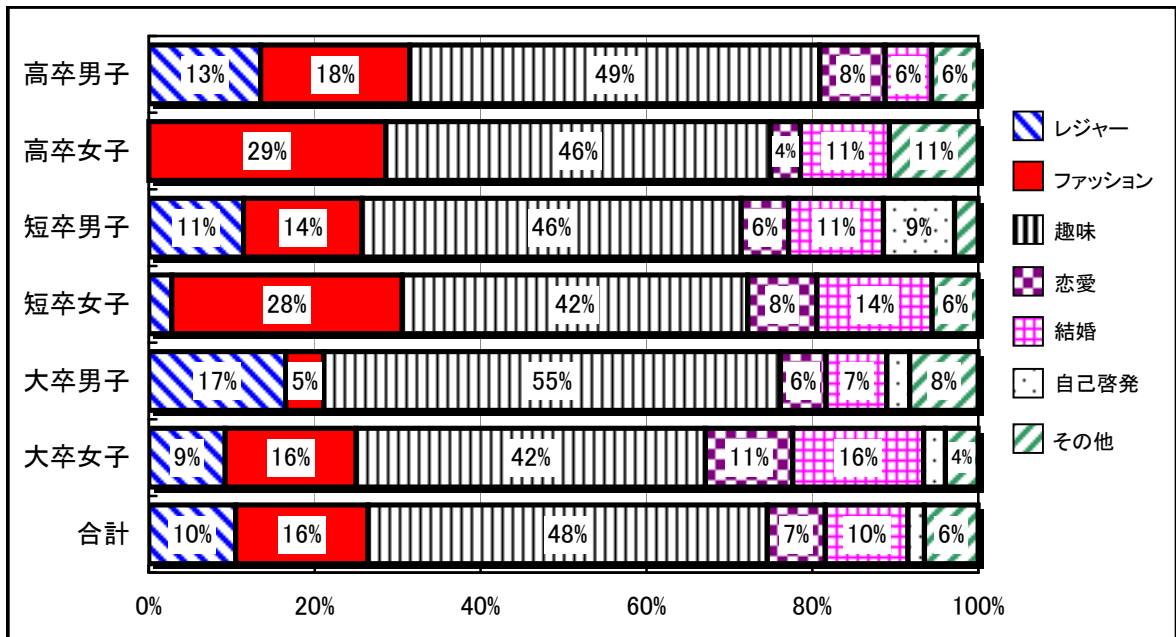
問13 仕事以外で一番関心のあることは何ですか？

項目	分類	男女別		学歴別			
		合計	男性	女性	高校卒	短大卒	大学卒
レジャー		10.5%	14.6%	4.8%	8.3%	7.0%	13.5%
ファッション		16.0%	11.2%	22.6%	22.1%	21.1%	9.2%
趣味		48.1%	51.5%	43.5%	48.3%	43.7%	49.7%
恋愛		7.0%	6.4%	7.7%	6.2%	7.0%	7.6%
結婚		10.0%	7.3%	13.7%	7.6%	12.7%	10.8%
自己啓発		2.0%	2.6%	1.2%	0.0%	4.2%	2.7%
その他		6.5%	6.4%	6.5%	7.6%	4.2%	6.5%

やはり「趣味」が一番の関心事

昨年と大きな変化はなく「趣味」が48.1%と相変わらずのトップで、男女別・学歴を問わず圧倒的に1位となっている。2位も昨年同様「ファッション」となっている。

「恋愛」「結婚」については、女性が21.4%であるのに対して、男性は13.7%と低く、例年の傾向が続いている。また、女性の中では大卒が前年の19.3%から26.3%に大きく上昇し、短大卒も30.2%から32.3%とわずかながら高くなっている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

(プライベート)

問14 休日(余暇)に最もしたいと思うことは何ですか？

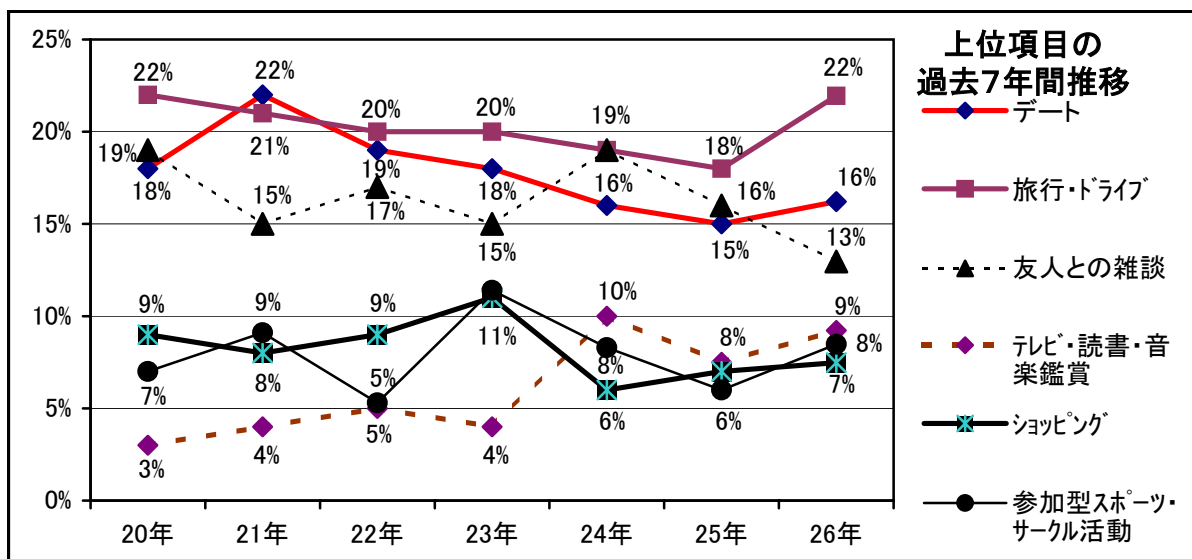
項目	分類	全体	男性			女性		
			高校卒	短大卒	大学卒	高校卒	短大卒	大学卒
デート		16.2%	20.2%	17.1%	16.5%	5.4%	16.7%	18.4%
旅行・ドライブ		21.9%	13.5%	22.9%	22.9%	23.2%	27.8%	26.3%
インターネット		5.5%	6.7%	5.7%	6.4%	7.1%	2.8%	2.6%
参加型スポーツ		4.2%	10.1%	2.9%	4.6%	1.8%	0.0%	1.3%
スポーツ観戦		2.5%	4.5%	0.0%	4.6%	0.0%	0.0%	1.3%
テレビ・読書・音楽鑑賞		9.2%	6.7%	2.9%	9.2%	14.3%	13.9%	9.2%
ショッピング		7.5%	3.4%	8.6%	4.6%	17.9%	5.6%	9.2%
友人との雑談		13.0%	14.6%	11.4%	8.3%	14.3%	19.4%	14.5%
クラブ・サークル活動		4.2%	4.5%	8.6%	3.7%	1.8%	2.8%	5.3%
パチンコ等の娯楽		2.7%	2.2%	5.7%	5.5%	1.8%	0.0%	0.0%
仕事や資格に関する勉強		2.0%	0.0%	2.9%	2.8%	1.8%	0.0%	3.9%
その他		8.7%	9.0%	8.6%	10.1%	8.9%	11.1%	5.3%
特になし		2.2%	4.5%	2.9%	0.9%	1.8%	0.0%	2.6%

旅行・ドライブ、デート ↗ 友人との雑談 ↘

「旅行・ドライブ」が前年比3.5ポイント増加して、21.9%で5年連続の第1位。次いで昨年3位の「デート」が16.2%で2位となり、「友人との雑談」が3.1ポイント減少して13.0%となり3位に後退した。

毎年上位の「旅行・ドライブ」「デート」はここ数年減少傾向にあったが、今年は再び上昇に転じ、「インターネット」やスポーツ関連は減少した。

ショッピングは全体では7.5%ながら高校卒女子で17.9%、参加型スポーツは高校卒男子で10.1%など、性別・学歴別ではそれぞれ特徴が出ている。



※図表中の表示数値は小数点以下を四捨五入

- ご利用に際して -

本資料はアンケート結果に基づいて作成されていますが、当行がその正確性、完全性を保証するものではありません。

本資料に基づくお客さまの決定、行為、及びその結果について、当行は一切の責任を負いません。ご利用にあたっては、お客さまご自身でご判断くださいますようお願い申し上げます。